

平成28年12月19日

保護者様

八代市立金剛小学校
校長 樋口昭彦

子供たちの安全を守るためのお願い

動画共有サイトには、大勢の人が注目し、見終わった動画の関連動画ということで次から次に動画の視聴をすすめる機能がついています。一度見始めると、次々に似たような動画を見続けてしまい、つい時間をかけてしまいがちです。

動画共有サイトには、視聴人数を表示したり、その動画に対するコメントを記入したりする機能がついており、注目を集めたいがために投稿内容がエスカレートしていく子供たちがいます。

実際に、万引きの様子を逃走しながら投稿する、自転車を川に放り込んだ場면을投稿する、自分の着替えの場면을生中継するといったことが起きています。

また、投稿者に直接メッセージを送信することもできるため、SNS や無料通話アプリなどと同様に、出会い系サイトで起きるのと同じようなトラブルもあります。

問題点・危険性

- 動画に没頭し、何時間も動画を見てしまうことがあります。
- 子どもに不適切な、テレビでは放送されないアダルト動画や過激な動画などを見てしまうことがあります。
- 子どもの動画の視聴による高額な通信費の請求がくることがあります。
- 投稿の内容から、個人が特定される場合があります。
- コメント欄やメッセージで、見知らぬ不特定多数の人から連絡、援助交際の誘いがくる場合があります。
- 投稿内容をめぐり友達間のトラブルが起きることもあります。

対策・対処（保護者の皆様をお願いするしか方法はありません。）

- 動画はつい長時間見てしまいます。見る時間を決めてルールを作りましょう。
- 「見たくない」動画に出会うこともあります。見る動画は慎重に選び、興味本位で見ないようにしましょう。
- 多くの動画共有サイトでトラブルが発生しています。動画共有サイトが提供するサービスをよく理解し、仕組みをわきまえて利用しましょう。
- 動画は、身近な人が見ればすぐに個人が特定できるという事実を認識しましょう。
- 記事の内容やコメント欄では、人を傷つけたり、反感を買うような発言をしないように注意しましょう。
- 動画共有サイトを利用しているすべての人がよい人とは限りません。関わりを持ちかける人を気軽に信用しないようにしましょう。
- 知らない人や会ったこともない人にメールアドレスや、名前、電話番号、住所などを教えないようにしましょう。
- 万が一、悪質な誹謗（ひぼう）中傷や脅しの被害を受けた場合は、最寄りの警察署の相談係または生活環境課に届けましょう。